

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

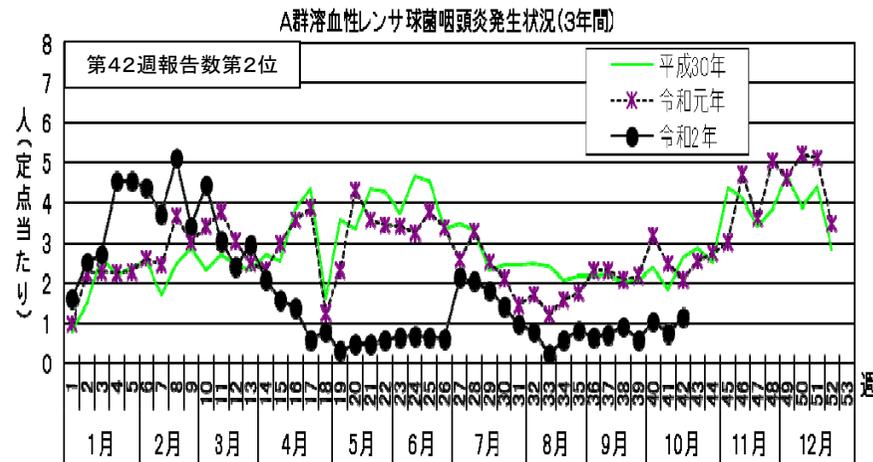
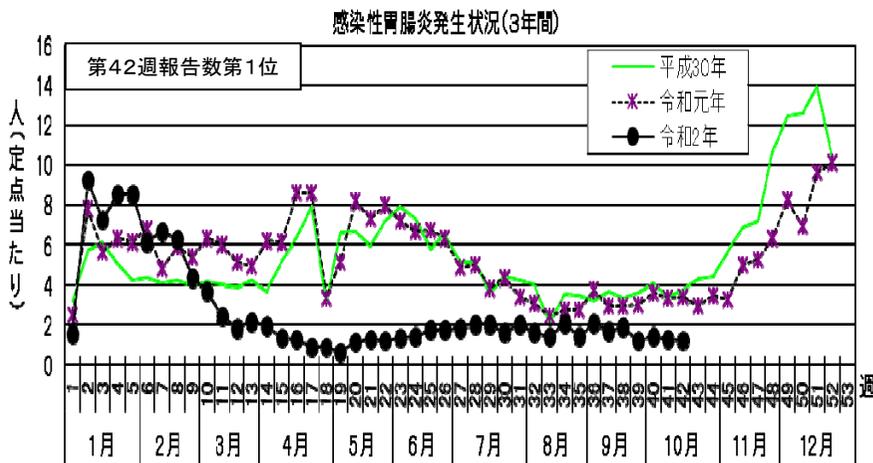
令和2年10月12日（月）～令和2年10月18日（日）〔令和2年第42週〕の感染症発生状況

第42週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)突発性発しんでした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.24人と前週（1.32人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.14人と前週（0.73人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.35人と前週（0.38人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

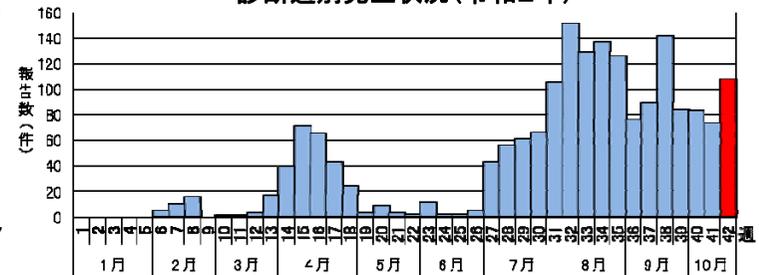


新型コロナウイルス感染症の感染リスク

川崎市における新型コロナウイルス感染症は、令和2年8月のピーク時には毎週100件を超える報告がありました。9月以降は概ね80件前後で推移していました。一旦減少傾向にあったものの、第42週（10月12日～10月18日）は108件と再び増加がみられます。友人や同僚との会食が発端となるケースも多く、

飲酒を伴う食事や大人数での会話、休憩時間などのマスクを外した会話なども感染リスクとしてあげられています。感染対策を徹底し、感染リスクを高める行動は避けましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別発生状況(令和2年)



感染リスクが高くなりやすい場面

- ①飲酒を伴う懇親会
飲酒に伴う大声、狭い空間に長時間、大人数で滞在
- ②大人数や深夜におよぶ飲食
昼間の通常の食事に比べ、感染リスクが高まる
- ③大人数やマスクなしでの会話
仕事後や休憩時間におけるマスクなしの会話
- ④仕事後や休憩時間
仕事後や休憩時間の密な状況
- ⑤集団生活
大人数が閉鎖空間で長時間一緒にいる際など
- ⑥激しい呼吸を伴う運動
換気の悪い閉鎖空間での激しい運動
- ⑦屋外での活動の前後
活動前後の車での移動や食事

(第10回新型コロナウイルス感染症対策分科会資料より)